

優良な協働事例の紹介

～南郷町もえる商忘団による地域を盛り上げる活動～

南郷町もえる商忘団は日南市内の企業や団体などと協働し、地域を盛り上げるイベントを多数行っている。

今回、南郷町もえる商忘団 団長 竹本 政憲 様、副団長 岩満 多津子 様にお話を伺いましたので、優良な協働事例として紹介します。

1 「南郷町もえる商忘団」とは

日南市南郷地区の地域活性化に取り組む市民団体として、市内の自営業者を中心に平成5年3月に設立。会員数33人。

「もえる商忘団」とは、商いを忘れて利潤を追求せず、地域への貢献のために芸術・文化鑑賞の提供、市民の豊かな感性を向上させるためのイベントの開催など、独自の活動を展開している。

【受賞歴】

- ・令和元年度日南市輝く市民協働大賞
- ・令和3年度宮崎県地域づくり顕彰 地域づくり優秀賞



2 事業内容

① 南蛮渡来みなとまつり

室町時代から江戸時代の始めまで、貿易港として栄えた外浦港、栄松港のある日南市で毎年11月頃に開催されるイベント。演奏や歌謡ショーなどのステージイベントの他、花火・水中花火の打ち上げが行われる。

<協働相手>

多くの地元企業から協賛を集め、協働してイベントを実施。



② 命の鼓動プロジェクト

東日本大震災の教訓を風化させることなく後世に伝え、防災意識向上を呼びかけるイベント。ステージイベントや災害時緊急車両の展示、NPO 法人宮崎県防災士ネットワーク日南支部による防災展示などが行われる。

<協働相手>

自衛隊、消防隊、行政、NPO 法人と協働してイベントを実施。



③ マリンあちい〜音楽祭

毎年、県内外からアーティストを招聘し地元の人に質の高い音楽を聴いてもらい、盛り上げたいという思いから、南郷町もえる商忘団が設立されて以来継続して開催しているイベント。

<協働相手>

多くの地元企業から協賛を集め、協働してイベントを実施。



3 活動のポイント

- 行政の支援に頼らず、地元企業の協賛金等で自主財源を確保し、特色ある市民参加型のイベントを作り上げ、地域に定着している。
- 地域の課題をもとに、創意工夫してイベントを企画しており、継続した活動を行っている。
- 「私たちが暮らしてきた南郷町の素晴らしさをもっと多くの人に知ってもらいたい」という思いを原動力に、地域が一体となって活動を展開している。

4 協働のポイント

- 行政や地元企業・団体に積極的に足を運び、長年に渡り関係性を構築できていることで、多様な主体と連携したイベントを継続して実施できている。
- 会員の意見をまとめる方法としては、少数意見は大事な意見であるという認識を持ち、仲間からの意見は大事にし、尊重する。
- 会員の親睦を図りながらボランティアで活動することで、会員の信頼関係構築や方向性の共有がされており、老若男女、職業も多種多様の人々がうまく協働して活動を行えている。

5 「まるっと協働！地域もりあげ塾」で事例報告等を実施！

令和6年10月11日に、日南市生涯学習支援センター学びピアにて、事例発表やパネルディスカッションから協働や地域活動について考え、活動の幅を広げるヒントを得ることを目的とした、「まるっと協働！地域もりあげ塾」に団長の竹本氏と副団長の岩満氏が登壇し、事例発表やパネルディスカッションを行った。

協働の好事例の発表の中で、協働相手の見つけ方や意見をまとめる時のポイントなどを発表し、多くの参加者が南郷町もえる商忘団の活動や理念に刺激を受けていた。

